

令和 6 年 7 月 19 日

## 2024 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 一般社団法人ココロミクラフティ

ホーム名 KC カルム

代表者・役職名 氏名 代表理事 本間 征二

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成事業の名称

快適な生活を送る為の物品購入事業

## 2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

元々この地域には自立援助ホームは一ヵ所ありました。その後、自立援助ホームも多機能化しており、幅広いニーズに対応することで、定員になることも多くありました。自立援助ホームが最後の砦とよく言われますが、まさにそのようなニーズは多々あり、法人としても、だれひとりとこぼさないと言う考えを持って事業を開始しました。若者が、自分らしい自立を応援できるように今後も取り組んでいきたいと思います。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

現在は建物の構造上、脱衣場、浴室は一ヵ所であり、脱衣場に洗濯機があります。現在は個浴のニーズが高い為、子ども達が利用するのを待たなければならない状況があります。また、現在の居間・食堂は狭く、みんなでテレビを見て盛り上がる(特にプロ野球やオリンピック)ことも、人数分けしている状況です。これらを解消するため、転居をして、この課題に対して解消するために今回の申請を行いました。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- ① 移転後の新ホームには、浴室が 2 ヶ所となります。洗濯室も単独であるため、子ども達のニーズが特に高かった、洗濯機を 2 台購入設置し快適な生活を送れるようにしたいと考えております。
- ② 移転後の新ホームについては、居間・食堂は全児童が集まても入れるスペースとなっているため、ソファーからもテーブルからも見ることができる大きなテレビを購入設置したいと考えております。また、子ども達の研修のスクリーンとしてもしたいと思い、スペースの有効活用の為、壁掛けテレビを設置したいと考えております。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

今回の環境整備により、入浴後の洗濯待ちや、それにかかるトラブルはほぼなくなりました。居間のテレビに関しては、子どもたちの研修活動に使われたり、映画鑑賞を行うなど、全体的な活動をすることにつながりました。また、子ども達が、居間にいることが多くなり、社会性を養う事にもつながっていることは感じています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今回の助成で購入した物品については、大切に使いますが、今後は、予算の中で物品に関する積み立てや、修繕費については、多めにもてるように行っていきたいと思います。また、転居したことにより、退去した子どもたちが、立ち寄りづらくなる可能性もあるため、整備された空間を利用して、つながっていけたらと思っております。

7. 参考資料：プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

